このリストは、図書館の職員が、5・6年生のみなさんに 読んでほしい本を選んだものです。

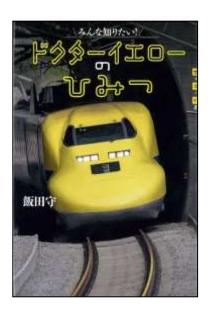
品川図書館	北品川2-32-3	23 3471-4667
二葉図書館	二葉1-4-25	☎ 3782−2036
荏原図書館	中延1-9-15	☎ 3784-2557
南大井図書館	南大井3-7-13	☎ 3761−6780
源氏前図書館	中延4-14-17	☎ 3781−6273
ゆたか図書館	豊町1-17-7	☎ 3785−6677
大井図書館	大井5-19-14	☎ 3777-7151
五反田図書館	西五反田 6 一 5 一 1	☎ 3492−2131
大崎図書館	大崎2-4-8	☎ 3495-0660
八潮図書館	八潮 5 一 1 0 一 2 7	☎ 3799−1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

よんでみたいな!

5・6年生



「みんな知りたい!ドクターイエローのひみつ」 飯田 守 著 講談社

品川区立図書館

『ブルースマンと小学生』

こうだ ゆうこ 作 スカイ エマ 絵 学研教育出版



野球が大好きな鉄平は、仲間と野球を する毎日だった。しかし、空き地がなく なり野球ができなくなったことをきっ かけに、鉄平の日常がくずれていく。

野球がしたいのにできない。やることもなく家でゴロゴロ。そんなときに公園で出会ったのがブルースマン。ブルースマンは鉄平に何を伝えるのか。

『ブルーとオレンジ』

福田 隆浩 著 講談社



小学5年生のブルーとオレンジのクラスでは、上下関係で問題を抱えていた。そんな中、二人は、平穏に無難に毎日を過ごせるよう努めていた。

そんな二人が、ある言葉をきっかけ に、自分の武器をみつけ、クラスにひそ む問題に向きあっていく。

『本について授業をはじめます』

世界でもっとも古い本がつくられた のは、いつごろか知っていますか?今か ら五千年以上も前です。そのころの本 は、紙ではなく、土でできていました。

普段読んでいる本は、誰がどのようにつくっているのか、そしてどのようにみなさんのもとへ届くのか。本についての授業を受けてみませんか。

永江 朗 著 少年写真新聞社



『サクラ・タイムトラベル』

加部 鈴子 作 岩崎書店

春休み、志保は、いとこの龍之介と歴 史博物館を訪れる。ところが、見学中に 火災が発生。館長さんの誘導で非常口に 入ると、二人は江戸時代へタイムスリッ プしてしまう。

そこで、歴史に係わる、ある特命を引き受けた二人の運命は…?

純粋で温かい気持ちになれる一冊。



『クラゲの秘密 海に漂う不思議な生き物の正体』

三宅 裕志 著 誠文堂新光社



クラゲと聞くと、海でふわふわ泳いでいて刺されたら痛い、大量発生して漁業の邪魔をするなど、悪い生き物とおもっていませんか。

ところがクラゲは、ぬるぬるの粘液を 出して海をきれいにしたり、食用になっ たりもします。そんな不思議なクラゲの ことがわかる一冊です。

『ペンダーウィックの四姉妹 夏の魔法』 ジーン・バーズオール 作 代田 亜香子 訳 小峰書店

ペンダーウィックの四姉妹は、夏休みの3週間、とあるコテージで過ごすことになりました。そこで出会ったのは、素敵な庭のある大きなお屋敷に住む最高の友達、庭師の男の子、それから…。

夏の魔法にかかった四姉妹の、きらき らした、とびきり素敵な夏休みの物語で す。



『ゾウと旅した戦争の冬』

マイケル・モーパーゴ 作 杉田 七重 訳 徳間書店



カールと看護師の母は、介護施設にいるリジーから、ドイツの東部の町に住んでいた戦争中の話を聞いた。

リジーの父親は、戦闘員として戦争に、母親は動物園の飼育員をしていた。 戦争中、危険な動物は殺されると聞き、 母親が子ゾウを預かり家族で敵兵から 逃げることに。

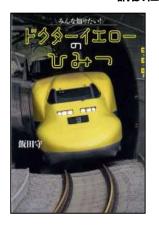
冬、ゾウを連れて旅した家族の物語。

『みんな知りたい!ドクターイエローのひみつ』

飯田 守 著 講談社

半世紀の間、たくさんの人を運んでき た新幹線。その歴史を支えてきたのが、 ドクター・イエローだ。

異常個所ではなく、異常が起こる前に その前触れを発見するという、ハイレベルな仕事ぶり。線路のゆがみや傾き、トロリ線のすり減り、どんなに小さな変化でもドクター・イエローは見逃さない! そのひみつ、のぞいてみませんか?



『サマセット四姉妹の大冒険』

レズリー・M・M・ブルーム作尾高 薫 訳中島 梨絵 絵ほるぷ出版



コーネリアは読書の好きな内気な女 の子。母親は有名なピアニストだが、い つも不在。

ある日、隣のアパートに小説家の老婦 人ヴァージニアが越してきた。言葉をか わしたコーネリアは、興味を持ち、家を 訪ねる。そして、ヴァージニアが話す、 三人の姉と世界を旅した若き日の冒険 にすっかり引き込まれていく。

『いっしょにアんべ!』

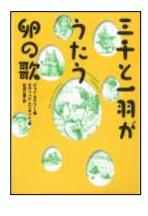
高森 美由紀 作 ミロコ マチコ 絵 フレーベル館

小学2年生のとき、ある出来事をきっかけに、クラスで浮いた存在になったノボル。そんなノボルの家に有田がやってきた。震災で生活の全てが変わってしまった有田。性格も生まれ育った場所も全く違う二人だが、ともに歩いて行く。ひとりぼっちなんかじゃない。いっしょにアんべ! (行こう!)



『三千と一羽がうたう卵の歌』

ジョイ・カウリー 著 デヴィッド・エリオット 絵 杉田 七重 訳 さ・え・ら書房



ミラー家は、三千羽のニワトリを飼育 する養鶏場。お母さんは、お腹の赤ちゃ んを守るために入院中。

養鶏場では、二ワトリの卵の数が減っていることが問題に。息子のジョシュのペット メンドリのセモリナはジョシュにだけ人間の言葉を話す。 ジョシュは、セモリナからキツネのしわざと聞くが、誰も信じてくれません。

『トイレをつくる 未来をつくる』

会田 法行 写真・文ポプラ社

東ティモールのマヌタシ村には、これまでトイレがありませんでした。川や地面で排泄すると、人々の飲む水が汚れたり、ハエがたかってしまいとても不衛生です。多くの子供たちが下痢、コレラ、赤痢で命をおとしていました。

この本は、トイレが未来をつくる大切 なものだと教えてくれます。

